



2010～2011年度
R I テーマ

Building Communities - Bridging Continents
地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長

レイ・クリングスミス (国籍・米国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0801 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事 木村きぬゑ
〳 亀井 孝
〳 河村 貴雄
〳 村津 忠久

理事 津末美代子
〳 大島由美子
〳 高宮 勝美

役員 会長 木村きぬゑ
副会長 亀井 孝
幹事 後藤 隆
会計 河村 貴雄

S A A 近藤 賢司
直前会長 近藤 賢司

VOL. 23-26
2011年1月25日

第1034回例会

会報委員長 衛藤 秀子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S それでこそロータリー
- ◆唱 歌 冬景色
- ◆B. G. M 「宗次郎こころのうた」より
若者たち
白いブランコ
誰もいない海 他
- ◆ビジター 浦松 傳 (別府北RC)

会長の時間 副会長 亀井 孝

大寒という暦にふさわしい厳しい寒さが続いています。今週末にはまた強い寒波がやってくるとの予報です。去年の夏、あまりの酷暑に悲鳴をあげていたのがうそのようです。

いまや連日のように世界のあちこちで異常気象が観測され、一方では大洪水、また一方では大干ばつとなり、輸入に頼る食料品の値段はじりじりと上がっています。追い討ちをかけるように、国内においても鳥インフルエンザが確認され、去年あれほど口蹄疫で辛酸を嘗めた宮崎でまた、大量の殺処分を行わなければなりません。農家の方の心労、経済的打撃はいかばかりか、考えるだけで胸が痛みます。

先日ニュースである学者が言うのには、地球の水や空気は地球の中でのみ循環しているのだから、どこかで洪水がおきればどこかで干ばつになるのは当然だと。当たり前のことですが、なるほど、と思いました。

私たちの「もみじ谷植樹」の活動によるこの谷の環境保全が、いつか循環して世界のどこかを助けることになるのかもしれない。

◆出席報告 出席委員長 大島由美子

本日 の 出 席	会 員 総 数	23 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	0 名
席	欠 席 数	4 名
	出 席 率	82.61 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	76.19 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	2 名
	修 正 出 席 率	80.95 %
1/11	連 続	- 回
	通 算	742 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後 大島 (大分南)
欠席 河村、木村、津末、栂田

幹事報告 幹事 後藤 隆

—ロータリー理解推進月間—

1. 本日の卓話
「古代・近代文明を支えた樹木」溝部 仁会員
2. 『RI第2720地区第28回青少年指導者養成研修会 (R Y L A)』開催のお知らせ
期 日 平成23年4月23日(土)～24日(日)
場 所 熊本交通センターホテル(1日目)
熊本YMCA体育館(2日目)



参加資格 地区内各ロータリークラブが推薦する18歳から30歳までの男女
 登録料 (全日程登録) RC = 13,000円、
 RAC / 一般 = 10,000円
 * 当録金額の詳細につきましては、別紙登録用紙の詳細項目をご確認ください。
 登録締切 2月25日(金)まで
 推薦される研修生がいましたら、幹事または事務局までお申し出下さい。

- 3. お祝い
 会員誕生日 平野 英壽会員 (1月25日)
 ※記念品をお渡し致します。
- 4. 次週例会の予定
 「会員卓話」 近藤賢司会員
 「会員コラム」 森園伸也会員
- 5. 本日の回覧
 ①「大分県3分区合同例会並びにIM (Intercity Meeting)」出・欠席
 ②「RI第2720地区2010-2011年度地区大会」出・欠席
 ③「別府中央RC親睦ゴルフコンペ」出・欠席
- 6. 本日の配布
 ①ロータリー探究「ロータリーの会合について」
 鳴海淳郎R情報委員長より
 ②第28回青少年指導育成研修会 (RYLA)
 参加登録申込書
 ③べっぴん鶴見岳一気登山パンフレット
 ④週報No.1033

- 森園会員
 本日は仕事の都合上、途中で失礼します。
- 中尾会員
 欠席が続きスママセンでした。先週の寒波でタイヘンでした。お詫びしてスマイルします。
- 大島会員
 本年度初めての出席です。皆様、本年も宜しくお願いします。
- 溝部会員
 久しぶりぶり、ブロッコリー!
- 森会員
 金・土・日と宮崎に出張していました。幹線道路での消毒で片道5時間かかりました。口蹄疫にしろ鳥インフルエンザにしろ、本当の所、食物連鎖を狂わせた人災ではないかと私は思っています。

卓 話 溝 部 仁

古代・近代文明を支えた樹木



古代編

1. はじめに

我々人類は、300万年前に誕生し、営々と生き長らえてきた。途中、氷河期もあったが、何とか無事に生き残ったのである。氷河期が終わると比較的温暖な時期に入る。

今から8000年前である。これから約2500年間は、温暖期が続き、サハラ砂漠にも植物が繁茂していたという。

我が国に目を向けると、青森県の『三内丸山遺跡』がこの時代を象徴しているといって過言ではない。最盛期には、500人を超える集団が居住しており、煮炊き・貯蔵庫やトレイの場所も決まっていた。と報告されている。取り分け、驚愕するのは、集落の周りに栗の木を植え、食料にしていたことも驚かざるをえない。ところが、5500年程前を境として地球は、小氷河期に入るのである。『三内丸山遺跡』もこの時期から忽然と姿を消すのである。すなわち、生命を維持してきた栗が育たなくなったのである。

この影響は、全世界に及びサハラ砂漠から植物が消え、人類は水を求めて大移動するのである。これが、ナイル川であり、チグリス・ユーフラテス川、インダス川と黄河であることは、説明するまでもない。これが古代文明の発祥のエネルギーとなったのである。

我々人類は、このように、生活し、生命を維持して行くためには、植物、取り分け、樹木が不可

スマイルボックス 委員長 森 宗明

○亀井会員

今日は会長代理です！?
 別府中央RCの楽しみの一つ、溝部会員の卓話です。又、教養が一つ増えます。よろしくお願ひします。

○後藤会員

仁ちゃん、卓話楽しみにしています。
 P.S も少し出席して下さいネ。

○村津会員

来週火曜日から「第24回べっぴん鶴見岳一気登山大会」の参加者募集が始まります。
 本日お配りの中に、そのちらしを入れておりますので、よろしく御協力を御願ひします。
 4月9日・10日の好天と、昨年同様3000人の参加申し込みが頂けますよう祈りましてスマイル。

○近藤会員

今日は久しぶりに溝部先生の卓話を聞けるので心がワクワク。でも逆に来週は私の卓話で心がドキドキ!
 困った困ったでスマイルボックス。



欠であることを物語っている。これを手始めとして古代文明と樹木について考えてみたい。

2. 四大文明と樹木

衆知のように、四大文明は、エジプト・メソポタミア・インダスと黄河文明である。しかし、いずれもが、大河の流域に栄えた文明である。要するに水が豊富にあるために、食料の確保が容易にできたのである。特に、エジプト文明は、しばしば起こったナイル川の氾濫によって、肥沃な土壌が堆積し、各種の食料が採れたのである。大分市の戸次牛蒡が有名なとよく似ている。

四大文明のうち長期間にわたって繁栄を謳歌したのは、ご承知のエジプト文明のみである。当然、長期間であったために、周辺の樹木は、多量に伐採され、宮殿を飾ったのである。また、玄室の棺も当初は、レバノン杉で出来ていた。王朝の中・後半になると、木材がないために、仕方なく、大理石などを利用するしかなかったのである。1999年（2000年だったかもわからない。…新聞の保管場所が不明）、読売新聞と朝日新聞に現在残っている杉は、キリスト教マロン派の教会を風雨から守る森の王者として、数本（樹齢6000年）しかない。わずかな木で交配すると杉が劣化するので、6000年前の地層を掘り起こし、そこから得られる種子でもう一度レバノン杉を再生するプロジェクトに寄付して下さい。との記事があったことをご存じだろうか。

メソポタミア文明について少し検討を加えてみたい。メソポタミアは、常に森林資源が枯渇していた。この文明と深い関係にある文明が1975年くらいから多数発掘されたのである。中でもイランのオンロス川東岸の遺跡から一万枚を超える楔形文字が入った粘土版が発見されたのである。この地が、エブラ王国であることが立証されたのである。この地は、上記のレバノン杉の自生地であったからである。この森林を目指してメソポタミアのアッカド王国ナラムスエインが攻撃を仕掛けたのである。紀元前2250年の頃である。それだけでなくも森林資源が枯渇していたメソポタミアは、ようやく待望のレバノン杉を手に入れ、日常生活全般に利用し、メソポタミア文明の衰退を防いだのである。因みに、有名なハムラビ法典のバビロンでも森林資源が枯渇しており、少しでも森林資源を保持するために、公布したのが、『ハムラビ法典^(注1)』である。

エブラ王国を手に入れたものの森林資源は、漸減するので、これを補うために、インダス文明の発祥の地から木材を輸入していたのである。この中継地が、アラビア半島のオマーンをはじめとする湾岸諸国であった。これらの国が滅亡したこと

と、インダス文明の発祥の地も木を伐採したために、砂漠化が急速に進展し、インダス文明も滅亡した。これと歩調を合わせて、メソポタミア文明も滅亡してしまったことは、我々に大きな示唆を与えているとって過言ではない。

黄河文明について、少し触れておきたい。黄河文明が勃興する頃、中国は、森林が鬱蒼として茂り、象がいたことが発掘で証明されている。黄河文明が終焉し、各地に国々が建設され覇を競っていた。これを統一したのが、秦の始皇帝（紀元前247～210年在位）であることは、有名である。始皇帝は、異民族の侵入を防ぐために『万里の長城』を建設したことは、衆知のことである。これを作るために、『万里の長城』周辺の木々を伐採し、レンガを乾燥させるために木々を使い、食料の煮炊きと暖房のために、『万里の長城』の木は、完全に消滅したのである。

さらに、時代が下がり、諸葛孔明（181～234年）が活躍する時代には、すでに黄河流域に木がなかったといわれている。ところが、中国人の知恵に驚かされるのは、黄河の土を乾かすとカチカチに固まり、青銅器の鑄型になったといわれている。何とも皮肉な結果であろうか。

(注1) ハムラビ法典に「一本の枝を傷付けた者は、生かしておかぬ。」というような厳格な法律を公布したのである。それだけ、バビロンも森林資源が枯渇していた証拠になる。

3. エーゲ（ギリシャ含む）文明と樹木

①6000年前のギリシャ

6000年前のギリシャ周辺の地下を調べてみると、各種の樹木の種や草花の種子が埋まっており、ギリシャ文明が勃興する前は、鬱蒼とした森林地帯であることがわかるのである。

②ミノア文明とミケーネ文明

a ミノア文明とミケーネ文明

紀元前2000～1400年に勃興した文明をミノア文明と呼んでいる。クレタ島のクノッソスを中心とした文明であった。これと前後し、紀元前1600～1200年に勃興したのが、ミケーネ文明であった。特に、この文明について、1876年シュリーマンが遺跡を発掘したことも有名である。ミケーネ式土器と青銅器が大量に発掘され、高度の文明が築かれていたことがわかる。取り分け、黄金のマスクは、有名である。ここで、よく考えてみると、黄金のマスクを製造するためには、大量の木々が必要であることは、説明するまでもない。枯渇する森林資源を有効に利用するために発明されたのが、火鉢である。何とも皮肉な結果であろうか。

b トロイの木馬

ギリシャの詩人ホメロスの叙情詩で有名なトロイの木馬の伝説もこの時代である。この戦争が本当にあったのかを実証するために活躍したのが、



シュリーマンである。この地をトルコに定めて、発掘したのである。見事、予想が的中し、青銅器が数多く発掘されたのである。また木馬の残骸が発見され、伝説ではなく、実際にあったことが証明されたのである。しかし、この一帯は、すでに古代文明が勃興し、樹木は、金属の製錬と食料の煮炊きのために利用されたのである。トロイの木馬の材料は、この一帯から調達できず、マケドニアのイダ山から調達したのである。マケドニアと聞いて何か思い浮かばないだろうか。そう、有名なアレクサンドロス大王の出身地である。この事実から、次の時代の覇権を握るためには、資源が必要なることを物語っている。

③アテネとスパルタ

エーゲ文明は、紀元前750年くらいから都市国家である。アテネとスパルタという二つの都市国家が文明を牽引してきた。この間、近隣の樹木は、伐採され続け、都市国家は、自然衰退し、ギリシャ文明は、終焉を迎えるのである。この都市国家に賄賂として材木を送って裏で操っていたのが、マケドニアである。この都市国家が衰亡した絶好のチャンスをつかんだのが、アレクサンドロス大王である。

因みに、マケドニアには、前記したイダ山（ギリシャ語で木の山）があったことを付言しておきたい。ここで、注目すべきは、作家の亀井勝一郎である。彼は、「ギリシャ文明は、大理石の文明である。」と書いているが、一面正しいが、皮相

な理解であることは、説明するまでもない。冷静に分析すれば、家を作る木が消滅していたので、仕方なく、大理石を利用したのである。

④地中海性気候とオリーブ

我々は、地理で地中海性気候＝オリーブと習ってきた。しかし、ギリシャ文明の勃興によって、周辺の木々が伐採され、剥き出しになった表土は、雨とともに地中海に流れ込んだのである。荒涼とした強アルカリ性の大地に生えるのは、オリーブしかないのである。

⑤地中海は痩せた海である

昭和の初めに地中海を旅行した和辻哲郎は、『気候と風土』の中で、「地中海は痩せた海である。それが証拠に海に海草が生えていない。」と看破している。一面正しい、しかし、表土がすでに海に流され、石灰岩の岩を流れる雨には、有機物も栄養素もなく、もし、古代文明が勃興していなかったら、肥えた海になったかもわからない。



会員コラム

中尾 誠

霧島山の新燃岳が噴火しています。私たちの大分県にも九重山という火山があるのですが、もっと近くにも火山はあります。鶴見岳・由布岳がそうです。いざ、噴火した場合に備えハザードマップが作成され

ており、このハザードマップを元に避難を行います。皆さんの自宅や会社はどの位置にあるのでしょうか。別府市は、鶴見岳・由布岳の西側に当たり噴石の飛来や火山灰の降灰が心配されます。とは言っても、鶴見岳・由布岳両方とも現在は活動状態も低く、前述の霧島山や九重山のようにここ何年～何十年と言うことはないと思われています。

備えあれば憂い無し。いざというときは逃げられる準備をしておきましょう。次回は、森園伸也会員です。

The collage contains several key documents:

- 鶴見岳・由布岳火山防災マップ**: A detailed map showing evacuation routes and hazard zones for Mt. Hase and Mt. Yufuin.
- 火山災害の健康の危険**: Information regarding health risks from volcanic ash and gas.
- 霧島山と由布岳の強い立ち**: A map and text describing the volcanic activity of Mt. Kirishima and Mt. Yufuin.
- 避難場所 安心院町**: A list of evacuation shelters in Anshin-cho.
- 別府市**: A map and text providing information about Beppu City, including evacuation routes and local resources.
- 大分県**: A map and text providing information about Oita Prefecture, including evacuation routes and local resources.